対象校No. 1054　　学校コード F144310111432

注１　　注２

変更年度　令和　4年度

認可

計画の区分：　大学の収容定員に係る学則変更

注2

日本文理大学　工学部　建築学科

収容定員に係る学則変更を行った大学の履行状況報告書

学校法人文理学園

令和6年５月１日現在

作成担当者

担当部局（課）名	大学企画業務担当
職名・氏名	次長（ジチョウ）・釘宮（クギミヤ）　啓（ケイ）
電話番号	097-524-2658
（夜間）	097-524-2654
ｅ－mail	dkikaku@nbu.ac.jp

（注）　１　対象校No.については、「【別紙】令和６年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。
２　学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
３　認可時から大学の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、
その下欄に（　　）書きにて、旧名称を記載してください。
例）　〇〇大学（旧名称：◇◇大学（平成◇◇年度より名称変更））

目次

ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

　　工学部建築学科

２．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５

３．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

学校法人文理学園

（2）大　学　名

日本文理大学

（3）調査対象大学等の位置

〒８７０－０３９７
大分県大分市大字一木１７２７番地１６２

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　　名	変　　更　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ スガ　サダヨシ ） 菅　貞淑 （平成１９年１月）		
学　　長	（ ハシモト　ケンジロウ ） 橋本　堅次郎 （令和３年４月）		
学 部 長	（ ムロゾノ　マサヒコ ） 室園　昌彦 （平成２９年４月）		
学科長等	（ コンドウ　ショウイチ ） 近藤　正一 （平成２９年４月）		教室主任

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）令和５年度に報告済の内容　→（５）
令和６年度に報告する内容　→（６）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。
・対象学部等が複数の場合には、それぞれ記載してください。

（５） 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

調査対象学部等の名称（学位）	設置時の計画								定員変更年度	学生募集の停止について	備考
	修業年限	入学定員		編入学定員		収容定員					
		変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後				
工学部 建築学科 学士（工学）	4 年	60 人	80 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	240 人	320 人		令和4 年度		

対象年度 区　分	令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A　入学定員	人 － （　－　） ［　－　］	人	人 － （　－　） ［　－　］	人	人 － （　－　） ［　－　］	人	人 80 （　－　） ［　－　］	人	人 80 （　－　） ［　－　］	人	人 80 （　－　） ［　－　］	人	－	0.99 倍	— 倍
志願者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	154 （－） ［1］	0 （－） ［－］	134 （－） ［1］	0 （－） ［－］	113 （－） ［6］	（　） ［　］			
受験者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	151 （－） ［1］	0 （－） ［－］	133 （－） ［1］	0 （－） ［－］	112 （－） ［5］	（　） ［　］			
合格者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	141 （－） ［－］	0 （－） ［－］	132 （－） ［1］	0 （－） ［－］	111 （－） ［5］	（　） ［　］			
B　入学者数	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	78 （－） ［－］	0 （－） ［－］	75 （－） ［1］	0 （－） ［－］	60 （－） ［3］	（　） ［　］			
入学定員超過率 B／A	－		－		－		0.97		0.93		0.75				

（注）・ 当該調査対象の学部の学科等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
・ 様式は、令和元年度定員変更の４年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和６年度までの６年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が７年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
・ 認可後さらに定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「－」を選択。）
・ 報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・ 調査対象学部等の定員変更年度から報告年度まで記入してください。なお、定員変更年度以前は「－」を記入してください。
・ （ ）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・ 転入学生は記入しないでください。
・ [ ]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「－」を選択。）
・ 「収容定員充足率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間までの報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和７年度開設用）Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第１条第２項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第２項及び第４項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
・ 「（５） 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「２ 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

２　既設大学等の状況

大学の名称	日本文理大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	2	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
工学部	4	280	-	1100	－	0.85	－	－	昭和42	－	
機械電気工学科	4	60	-	240	学士（工学）	**0.70**	**－**	－	平成20	大分県大分市大字一木1727番地162	
建築学科	4	80	-	300	学士（工学）	0.99	－	令和4	平成19	同上	令和4年度から入学定員変更（60→80）
航空宇宙工学科	4	40	-	220	学士（工学）	**0.45**	**－**	－	平成14	同上	令和6年度から入学定員変更（60→40）
情報メディア学科	4	100	-	340	学士（工学）	1.08	1.07	－	平成14	同上	令和6年度から入学定員変更（80→100）
経営経済学部	4	300	-	1200	－	0.89	－	－	平成15	－	
経営経済学科	4	300	-	1200	学士（経営経済学）	0.89	－	－	平成15	大分県大分市大字一木1727番地162	
保健医療学部 保健医療学科	4	160	-	320	－	0.81	－	令和5	令和5	－	
診療放射線学コース	4	80	-	160	学士（保健医療学）	0.98	－	令和5	令和5	大分県大分市大字一木1727番地162	
臨床検査学コース	4	50	-	100	学士（保健医療学）	0.66	**－**	令和5	令和5	同上	
臨床医工学コース	4	30	-	60	学士（保健医療学）	0.61	**－**	令和5	令和5	同上	
大学全体	4	740	-	2620	－	－	－	－	－	－	

（注）・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等
（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、
「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「－」とした上で、「非表示」設定としてください。
・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ＡＣの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「収容定員充足率」には、報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和６年度開設用）Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」
第１条第２項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第２項及び第４項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の**学科**については、**必ず太字にしてください**。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載の
コメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

３　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
認　可　時 （令和3年度）	本学科における過去5年間の入学実績を見る限り,入学定員60名に対して約80名から100名程度の入学者を受け入れてきたことを踏まえ、収容定員増加後は同様の状況が生じないよう,入学定員に応じた適切な定員管理を行うこと。（工学部建築学科）	【認可】 遵守事項	令和5年度の入学者数について、令和4年度までに定員充足率が1.41であったことを改善すること含め、学生募集において下記を実施し、定員管理に努めた。 1）入学定員80名の厳守 令和5年度の入学者数は75名であり、定員を遵守した。 2）実施入試の制限 他学科に比べ、実施入試を制限することで、定員管理に努めた。 以上より、令和5年度は入学定員を遵守した。また、定員充足率についても昨年度の1.41から1.18(R5.5.1時点)へと改善した。（５）	履行中	継続して入学定員管理の厳守に努め、定員充足率についても改善に努めていく。（５）（６）
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和5年度）	入学者選抜の適切な実施等を通じ、収容定員超過の改善に努めること。（工学部建築学科）	【ＡＣ】 指摘事項 （改善）	他学科に比べ、実施入試を制限することで、定員管理に努めた。 令和6年度の入学者数は60名となり、入学定員80名を遵守し、収容定員充足率は0.99へと改善した。 （６）	履行済	継続して入学定員・収容定員充足率の管理厳守に努めていく。 （６）
設置計画履行状況 調　査　結　果 （令和5年度）	日本文理大学の既設学科等（工学部航空宇宙工学科）の収容定員未充足の改善に努めること。	【ＡＣ】 指摘事項 （改善）	令和6年度入学生より入学定員を60名から40名へと変更。前年度より入学者数は14名から24名へと増加し、入学定員充足率は0.23から0.6へと改善したものの、収容定員充足率は0.45となった。（６）	履行中	令和6年度の工学部航空宇宙工学科の収容定員充足率は0.45に留まっている。 今後の実施計画としては、オープンキャンパス、高校訪問、進学ガイダンス等の学生募集活動のさらなる強化を図り、入学定員・収容定員の充足に努める。（６）

（注）・　「認可時」には、認可時に付された附帯事項と、それに対する履行状況等について、
具体的に記入してください。

・　認可時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和５年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和５年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。

【令和５年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和５年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）（６）」と記載してください。

【令和６年度から新たに調査対象となった学科等又は令和５年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。

・　「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。
その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。